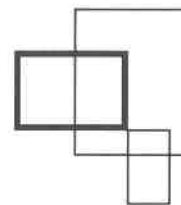




Matsuyama
Business
College

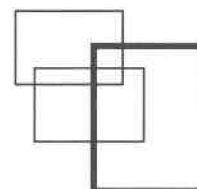
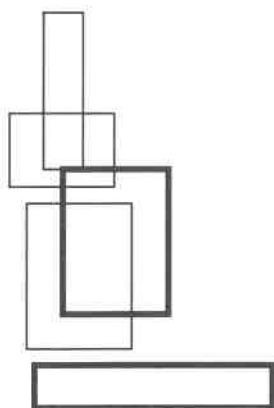


松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科

2022 年度

シラバス



名前

※一年間、各自保管すること

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科

必修/ 選択		区分	科目名	種別	担当者	ショップマスター コース1年			スタイリスト コース1年					
						前期	後期	単位	前期	後期	単位			
必修		学科 共通	色彩学Ⅰ(全学科共通)	講義	智内	30		2	30		2			
			アイテム・アパレル素材論	講義	野口	30		2	30		2			
			ファッション販売理論Ⅰ	講義	智内	30		2	30		2			
			ファッション販売実技Ⅰ	実習	越智	30		1	30		1			
			ファッションドローイング(全学科共通)	実習	溪	30		1	30		1			
			西洋服飾史(全学科共通)	講義	大野	30		2	30		2			
			デジタル演習Ⅰ(全学科共通)	実習	井上	30		1	30		1			
			カメラ演習Ⅰ	実習	光藤	60		2	60		2			
			色彩学Ⅱ(全学科共通)	講義	智内		30	2		30	2			
			ファッション販売理論Ⅱ	講義	智内		30	2		30	2			
			ファッション販売実技Ⅱ	実習	越智		30	1		30	1			
			デジタル演習Ⅱ(全学科共通)	実習	野田		30	1		30	1			
			カメラ演習Ⅱ	実習	玉本		30	1		30	1			
			業界研究	講義	特別講師		60	4		60	4			
			オンライン販売	講義	特別講師		30	2		30	2			
			ファッション業界論Ⅰ	講義	神田		30	2		30	2			
			ショップマスターⅠ	講義	神田	30		2						
			ファッションビジネスⅠ	講義	智内、神田	60		4						
			サービス接遇	講義	重橋	30		2						
			ネットビジネスⅠ	講義	永田	30		2						
			ショップマスターⅡ	講義	神田		30	2						
			ファッションビジネスⅡ	講義	智内、神田		60	4						
			マーケティング	講義	神田		30	2						
			ネットビジネスⅡ	講義	永田		30	2						
			スタイリスト演習Ⅰ	実習	稲美・溪					30	1			
			ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	高岡					60	2			
			ネイル実技・理論Ⅰ	実習	水本					60	2			
			化粧品概論	講義	石綿					30	2			
			スタイリスト演習Ⅱ	実習	稲美・溪						30	1		
			スタイリスト商品制作Ⅰ	実習	神田						30	1		
			ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	高岡						60	2		
			ネイル実技・理論Ⅱ	実習	水本						60	2		
			必修科目 合計						420	420	48	450	450	41
									840		48	900		41
選択			ネイル実技・理論Ⅰ	実習	水本	60		2						
			ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	高岡	60		2						
			ネイル実技・理論Ⅱ	実習	水本		60	2						
			ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	高岡		60	2						
選択科目 合計														
年間合計時間/単位数						840		48	900		41			

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目		色彩学Ⅰ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)		智内 菜奈子		時間割	金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的		色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、 わかりやすく学ぶ。					
学習到達 目標		ファッション色彩能力検定3級合格。					
担当教員の授 業に関わる実 務経験		☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割		授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	カラーマップ作成	カラーマップ作成による色彩の役割					
2	〃	〃					
3	色彩のはたらき	生活における色彩のはたらき、色彩の役割					
4	色彩の体系	色の三属性、ヒュー&トーン					
5	色彩理論	色の成り立ち、光と色、三原色					
6・7	実技	絵の具、メイクパレットを使って色の混色方法を学ぶ					
8	色彩理論	混色、眼球の仕組み					
9	〃	網膜の仕組み					
10	色彩と心理	色彩と感情効果					
11	実技	抽象画コラージュ					
12～14	色相と配色	配色について					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具		ファッション色彩〔Ⅰ〕(一般財団法人日本ファッション教育振興協会) ファッション色彩能力検定試験問題集3級(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)					
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準		作品40%、修了テスト60%の比率で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2023年1月14日(土)		
備考		各自ノートを準備すること。					

授業科目	アイテム・アパレル素材論			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	アパレル製品のアイテムと主な素材である布地に関する基礎知識の習得。アイテム名称、素材の扱い方、洗濯表記を学び、商品開発や接客に関連させる。						
学習到達 目標	各アイテムと素材の知識を基に商品提案ができる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	パーツ別アイテム	襟、袖の種類		ネックライン、カラー			
2	〃	〃		スリーブ、カフス			
3	〃	身頃の種類		シルエット、トップス			
4	〃	〃		ジャケット			
5	〃	スカートの種類		スカート			
6	〃	〃		ワンピース			
7	〃	パンツの種類		パンツ			
8	〃	アクセサリーの種類		靴、帽子			
9	〃	メンズ・キッズのアイテム名称		スーツ、キッズアイテム			
10	副資材、装飾	副資材、装飾の名称		ボタン・ファスナー			
11	〃	〃					
12	柄	柄の名称		チェック・ストライプ・ドット			
13	〃	〃		その他柄、和柄			
14	まとめ	オリジナルデザイン画作成		トレンドを調べて、デザイン画に落とし込む			
15	〃	〃		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	隔週・木曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	的確に個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を受け、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。						
学習到達 目標	ファッション販売能力検定3級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション販売知識		ファッションとは、ファッション販売について				
2			ファッション小売業の業種・業態、お客様にとって店とは				
3			お客様について、ライフスタイルショップの販売知識				
4	ファッション販売技術		販売スタッフの基本マナー、購買心理の理解				
5			買い物の仕方、接客の基本とコンサルティングセールス				
6			包装、贈答のマナー				
7	商品知識		アイテムの知識				
8			インナーウェアの知識、服飾雑貨				
9			素材の種類と加工				
10			シルエットの知識、衣服の構成とディテール				
11			柄の種類と特徴、色彩と配色の知識				
12	売り場づくり		サイズの知識、商品の品質管理、副資材の種類				
13			店舗の環境づくり				
14			マーチャンダイズプレゼンテーション				
15	修了テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売3 改訂版(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、ノート20%、修了テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション販売能力検定3級 2022年12月3日(土)		
備考	各自ルーズリーフを準備すること。						

授業科目	ファッション販売実技Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ			時間割	水曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得。						
学習到達 目標	現場で使える基礎知識を身に付ける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、 応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション販売実技概論		ファッション販売実技とは				
2～4	タイプ別実践		複数のタイプのお客様を見立てた販売実践				
5・6	PDCA		仕事をするうえでの大切なプロセスを学ぶ				
7	自己分析		自分自身を見つめなおし課題を発見する				
8・9	目標設定		課題解決の道筋を立てる				
10・11	発表		課題とその課題解決のためのプランの発表とすり合わせ				
12・13	目標中間すり合わせ		自己分析で発見した課題と解決目標に関しての中間すり合わせを行う				
14・15	プレゼン		行った市場調査をまとめ、発表				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題20%、ロープレ30%、プレゼン30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある。			検定試験の 概要			
備考	1年間続けて使えるノートなどを準備すること。						

授業科目	ファッションドローイング	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	湊 裕子	時間割	木曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	服のデザイン構造を表現できるように、人体のプロポーションを基礎から学び、それぞれのオリジナルデザインスタイルを表現。				
学習到達 目標	8等身のプロポーションが描けるようになり、服の構造や描き方を知る。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	プロポーション	デザイン画に必要な基本のプロポーションを描く			
2	プロポーション・手足、靴	デザイン画に必要な基本のプロポーションを描く(手足)			
3	プロポーション・顔	デザイン画に必要な基本のプロポーションを描く(顔)			
4	ヘアメイク	ヘアメイクデザイン画の描き方			
5・6	ポージング・ボディバランス	ポージングの取り方			
7・8	ハンガーイラスト	ハンガーイラストの描き方			
9	服のシルエット・動き (しわ)	しわの描き方、影の入れ方			
10	ペン入れ・絵具の塗り方 (影)	水彩絵の具、コピック等の着色方法			
11・12	柄表現	柄の描き方			
13	素材表現	素材の描き方			
14	模写	コレクション雑誌からデザインを模写する			
15	デザイン画作成	オリジナルデザイン画の作成			
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ペン、他				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	アイデア発想力20%、課題40%、オリジナルデザイン画40%の比率で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	水曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身に付ける。						
学習到達 目標	服飾の歴史を知り、これからのデザイン発想や販売・スタイリングに役立つ知識の習得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	服飾史概論		衣服とは、身近なシャツを解体し服の構造を知る				
3	古代・中世の服装		古代ギリシャ、古代ローマの服飾について				
4	〃		ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾について				
5・6	14世紀～17世紀		ルネサンス、バロック時代、ロココ時代の服飾について				
7	17世紀～19世紀		新古典主義、クリノリン、バースル、S字シルエットなどの服飾について				
8	19世紀～近代		現代における洋服の変遷や代表的なデザイナーを知る				
9	〃		シャネル・ディオール				
10	ブランド調査レポート		それぞれブランドを選択し、歴史やルーツを辿る				
11	ブランド発表		作成したレポートをもとに、発表(1人5分)				
12	1960-1970年台		戦後のファッション～ヒッピースタイル				
13	1980-1990年台		バブル経済～ストリートファッション				
14	2000-2010年台		現代のトレンド				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	業種や職種を問わず、多くの職場で使用されているWord・Excel・PowerPointの基本操作を学習する。						
学習到達 目標	基礎的なパソコン操作の習得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word①		授業科目のテーマと目的、Wordの概要				
2・3	Word②		文書の作成、グラフィック機能、表の作成				
4	Word③		図形の作成／図形の挿入				
5	Word④		復習、総合問題				
6	確認テスト		実習による確認テスト(Word)				
7	Excel①		Excelの概要、データ入力、表の作成				
8・9	Excel②		グラフの作成、データの分析				
10	Excel③		復習、総合問題				
11	確認テスト		実習による確認テスト(Excel)				
12	PowerPoint①		PowerPointの概要、プレゼンテーションの作成				
13	PowerPoint②		スライドショーの実行、アニメーションの設定				
14	PowerPoint③		復習、総合問題				
15	確認テスト		実習による確認テスト(PowerPoint)				
使用テキスト 教材・教具	USB 32GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	Wordテスト30%、Excelテスト30%、PowerPointテスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	カメラ演習 I	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	光藤 知泉	時間割	木曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。また、ファッション業界に関わるSNSの効果的な写真の活用法を実践し、活用していく。				
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 雑誌や広告などのカメラマン経験がある講師がその経験を活かし、撮影に関するの基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～3	カメラ概論	カメラ演習とは 機材の名称、DPI(解像度)の違い、光、背景、色の効果、印刷工程			
4	カメラテクニック別	実習1 人物撮影・画像補正～加工(シャドウ、ハイライト、彩度など)			
5・6		実習2 物撮り、アイテム別(春夏:Tシャツ、シャツ、パンツ、バック、帽子) (秋冬:ウール、ファー、ニット帽、靴)			
7・8		実習3 課題研究(撮影～画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提出			
9		実習4 ライティング			
10・11	目的別	実習5 人物を撮る			
12・13		実習6 商品を撮る			
14・15		実習7 課題研究(指定した表現方法で好きなアイテムを撮影)			
16～18	シーン別	実習8 ファッション雑誌:リサーチ、プレゼン			
		ファッション雑誌:セッティング			
		ファッション雑誌:ライティング、撮影			
19・20	テーマ別	実習9 課題研究			
21～24		実習10 ネット販売、課題研究			
25～28		実習11 SNS、課題研究			
29・30		実習12 作品集			
使用テキスト 教材・教具	スマホ、iPad、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライト、撮影ボックスなど				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題40%、作品60%の比率で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	金曜 2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	色彩技術	配色の基礎					
2	〃	色彩構成の基礎					
3	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割					
4	〃	企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩					
5		染色について					
6		ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)					
7		照明の色と種類					
8～14	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩〔Ⅰ〕、ファッション色彩能力検定試験問題集3級						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2023年1月14日(土)		
備考	各自ノートを準備すること。						

授業科目	ファッション販売理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	的確に個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。						
学習到達 目標	ファッション販売能力検定3級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	売場づくり	店舗の環境づくり					
		マーチャンダイズプレゼンテーション					
3～6	マーケティング	マーケティングの基礎知識					
		店舗の強みと弱み、ターゲットマーケティング					
		情報収集の目的と必要性					
7	販売スタッフの業務	商品管理、係数知識					
8～13	練習問題	練習問題解答・解説					
14	ファッション販売知識(2級)	販売スタッフへの期待、販売スタッフの役割					
15		販売に必要な情報、顧客づくりの重要性と管理術					
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売3 改訂版(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、模擬テスト30%、検定40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション販売能力検定3級 2022年12月3日(土)		
備考	各自ノートを準備すること。						

授業科目	ファッション販売実技Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネスコース 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得。						
学習到達 目標	現場で使える基礎知識を身に付ける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、 応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	基礎知識	売上ツリー、接客8大用語					
3～5	接客基礎	購買心理8段階、挨拶、5W1H					
6～8	動的待機	たたみ、トルソー着せ替え、ポジショニング、声だし					
9～11	MDA	MDAに関しての基礎					
12～14		基礎知識、MDAロープレ					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題20%、ロープレ30%・修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある。			検定試験の 概要			
備考	1年間続けて使えるノートなどを準備すること。						

授業科目	デジタル演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Illustrator、Photoshopにつ いて		Illustrator、Photoshopでできること				
2	Illustrator基本ツール		図形ツール、文字ツール、ペンツール				
3	〃		レイヤー、トリムマーク、ガイド、クリッピングマスク、パスファインダー				
4～7	演習課題		演習課題を行いながら、随時講義や制作物の添削を行う				
8	Photoshop基本ツール		トリミング、選択ツール、ブラシ、ぼかし				
9	〃		レイヤー、色調補正、画像解像度				
10～14	演習課題		演習課題を行いながら、随時講義や制作物の添削を行う				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	USB 32GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	カメラ演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	玉本 慎平			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	撮影に関するカメラ技術と感性について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。実践的な授業を繰り返し、ファッション業界で通じる被写体の捉え方など多角的な撮影テクニックを学ぶ。						
学習到達 目標	一眼カメラで作品を撮る。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 現役カメラマンによる実践的な指導をする。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	実習1	カメラ感性について、機材の扱い方、実践					
5～8	実習2	テーマ設定、モデル					
9～12	実習3	テーマ設定、モデル					
13～15	実習4	作品集					
使用テキスト 教材・教具	カメラ(一眼)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	業界研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに対する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	舞台衣装		特別講義 1				
3・4	テキスタイル		特別講義 2				
5・6	ショップマスター		特別講義 3				
7・8	スタイリスト		特別講義 4				
9・10	デザイン		特別講義 5				
11・12	ポートフォリオ		特別講義 6				
13・14	コスチューム		特別講義 7				
15・16	メンズ		特別講義 8				
17・18	レディース		特別講義 9				
19・20	カメラ・映像		特別講義 10				
21・22	ライティング		特別講義 11				
23・24	スタイリスト		特別講義 12				
25・26	ブランド		特別講義 13				
27・28	経営		特別講義 14				
29・30	就職、キャリア		特別講義 15				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	オンライン販売			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	大手百貨店やアパレル業界で集客販売促進の手法としてライブでのオンライン販売が増えてきた。今までの接客方法とは違う観点の接客方法を知り、お客様とのつながり方やアピール方法を学ぶ。						
学習到達 目標	ライブ配信の方法、トーク力を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ライブコマース	ライブコマースとは					
2・3	ライブ配信	ライブ配信をするにあたっての準備物、注意事項					
4～7	接客方法	配信時間、言葉遣い、配信人数による接客方法					
8～11		サイズや質感、コーディネート提案					
12・13	動画編集	動画編集アプリ・ソフトを使用した編集方法					
14・15	ロープレ	実践形式にてオンライン販売を行う					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	編集50%、ロープレ50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション業界論Ⅰ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	オンラインを活用し、ファッションビジネス業界の動向を知る。また、オンデマンド配信であれば、動画を繰り返し見たり、一時停止したりすることが可能。 個人の理解度に合わせて動画を視聴できる。					
学習到達 目標	ファッション業界の動向を知る。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション		ファッションビジネスセミナー 1			
2	アパレル		ファッションビジネスセミナー 2			
3	EC		ファッションビジネスセミナー 3			
4	人材育成		ファッションビジネスセミナー 4			
5	トレンド		ファッションビジネスセミナー 5			
6	サステイナブル		ファッションビジネスセミナー 6			
7	DX		ファッションビジネスセミナー 7			
8	美容		ファッションビジネスセミナー 8			
9	パーパス		ファッションビジネスセミナー 9			
10	OMO オンラインとオフライン		ファッションビジネスセミナー 10			
11	企業		ファッションビジネスセミナー 11			
12			ファッションビジネスセミナー 12			
13			ファッションビジネスセミナー 13			
14			ファッションビジネスセミナー 14			
15			ファッションビジネスセミナー 15			
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	ショップマスター I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ショップマスターコース 1年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	ショップマスター概論		ショップマスターとは、小売業、ショップマスターに必要な能力				
3・4	流行とブランド		流行とトレンド				
5・6	雑誌リサーチ		雑誌分析				
7・8	ファッションビジネス		OEMとODM				
9・10	業界の知識		世界の専門店				
11・12			世界三大SPA				
13・14	企業リサーチ		企業分析				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ファッション雑誌						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート30%、マップ30%、修了テスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネスⅠ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子・神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	アパレル業界の構造・流通を総合的に理解し基礎能力を修得する。ファッション産業の構造・マーケティング・商品知識・計数管理など、ファッションビジネスに必要な情報を理解する。						
学習到達 目標	ファッションビジネスの基礎知識を習得した上でファッションビジネス能力検定3級合格を目指す。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	ファッションビジネスの概要	ファッションビジネスの定義と特性、繊維ファッション産業の概要 ファッションビジネスの歩み、今日のファッションビジネスの動向					
4～6	ファッション生活 ファッション消費	消費者行動とファッション表現、ライフスタイルとファッション お客様の購買動向					
7～9	ファッション産業構造	アパレル産業の概要、ファッション小売業とSCの概要 ネットビジネスの概要					
10～14	ファッションマーケティング	マーケティングの基礎知識、消費者分類の手法 市場調査の基礎知識					
15～18	ファッション マーチャンダイジング	マーチャンダイジングの基礎知識、商品の企画・生産・販売の流れ リテール品揃えの基礎知識、ファッション資料の知識					
19～22	ファッション流通	流通に関する基礎知識、ファッションショップの仕組みと業務					
23～25	ファッション産業の職種概要	ファッション産業の職種概要、求人、採用					
26～29	ビジネス基礎知識	会社に関する基礎知識、係数の基礎知識、IT基礎知識					
30	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	ファッションビジネスⅠ改訂版(一般社団法人 日本ファッション教育振興協会) ファッションビジネス能力検定試験3級項目別 試験問題・解答集改訂版(一般社団法人 日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2022年11月19日(土)		
備考	ファッションビジネス知識編						

授業科目	サービス接遇			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重橋 秀香			時間割	月曜3限 水曜1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	シヨップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、口のきき方、態度・振舞いなど、サービスに対する考え方や行動の型などを学び、おもてなしの心とかたちを育てる。						
学習到達 目標	サービス接遇3級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	サービス接遇概論		サービス接遇とは				
2	スタッフ資質		必要とされる要件				
3			従業要件				
4	専門知識		サービス知識				
5			従業知識				
6	一般知識		社会常識				
7							
8	対人技能		人間関係、接遇知識				
9			話し方、服装				
10	実務技能		問題処理、環境整備				
11			金品管理、社交業務				
12	模擬テスト		実問題集①				
13			実問題集②				
14			実問題集③				
15			実問題集④				
使用テキスト 教材・教具	サービス接遇検定 3級公式テキスト(早稲田教育出版) サービス接遇検定 実問題集3級(早稲田教育出版)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト60%・検定40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	サービス接遇検定3級 2022年6月12日(日)		
備考							

授業科目	ネットビジネスⅠ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	水曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ネット上で公開されているWebページを検証し、現在の「はやりのレイアウト」を掴む技法を学習する。そのデザインを選択した意図や技術的な進歩がデザインに与える影響など、背景にある要因を読み取るための手法を学ぶ。				
学習到達 目標	クライアントニーズとユーザーニーズに対し、「見た目のトレンド」「技術的なトレンド」「競合分析」など他角度的に分析しサイト制作に落とし込める知識を身につけるようになる。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ディレクターとして企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わずニーズ・予算に応じたサイト制作の提案と設計・進行管理の経験がある講師が指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webサイトの歴史	Webサイトのデザインや役割における変化の歴史			
2	Webサイトの種類	サイトの種類とそれぞれの役割（前回の小テスト）			
3	業種ごとのトレンド遍歴	業界や業種ごとのWebにおけるトレンドの変化（前回の小テスト）			
4	参考サイトの探し方	ギャラリーサイトや検索エンジンを用いた参考サイトの探し方			
5・6	デザイントレンドの探り方	デザインにおけるトレンドの探り方			
7・8	第1回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自発表			
9	技術的トレンドの探り方	Webにおける技術的なトレンドの探り方			
10	既存サイトの改善分析	対象となるサイトの問題点の洗い出し方と改善案			
11・12	第2回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自発表			
13	改善事例の考察	リニューアル後の改善事例の考察			
14・15	第3回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自発表			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、提出課題20%、レポート発表内容60%の比率で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	ショップマスターⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ショップマスターコース 1年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。 マップや、ショップ見学を通し、実際の現場の構成を把握し、リサーチ力と自分のプランを創り出す。						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	経営管理・マネジメント		店長の仕事・スタッフ管理				
2			人材育成				
3			顧客満足度				
4			売り上げ				
5			適正利益				
6			リスク回避				
7			リーダーシップ				
8~15	課題研究・進級制作		企業分析計画・スケジュールリング				
リサーチ(ショップコンセプト・ブランドロゴ・商品内容・ショップ内装・販売方法・EC・SNSなど)							
組み立て							
プレゼン							
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ファッション雑誌						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート30%、課題30%、課題研究40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネスⅡ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子・神田 瑞穂	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	シヨップマスターコース 1年
授業科目の テーマと目的	アパレル業界の構造・流通を総合的に理解し基礎能力を修得する。ファッション産業の構造・マーケティング・商品知識・計数管理など、ファッションビジネスに必要な情報を理解する。				
学習到達 目標	ファッションビジネスの基礎知識を習得した上でファッションビジネス能力検定3級合格を目指す。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～3	ファッション、デザイン アパレル	ファッション、デザインの定義と特性、衣服とアパレルデザインの基礎知識 繊維とアパレルの基礎知識			
4～6	ファッションコーディネート	コーディネートの基礎知識、ファッションスタイリング ビジネスにおけるスタイリング提案、ディスプレイ知識			
7～9		アパレルアイテムの知識、シルエットの知識 ディテールの知識			
10～12	ファッション商品知識	品質・品質表示の知識、サイズの知識			
13～15		繊維、糸の知識、織物の知識 染色の知識、ニットの知識			
16～18	ファッションデザイン	デザイン画と製品図の理解、デザインと機能 色彩基礎知識、柄の知識			
19～21	ファッション・エンジニアリ ング	服飾造形に関する基礎知識、パターンに関する基礎知識 アパレル製造の基礎知識			
22～29	問題集	過去問題集解答解説			
30	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	ファッションビジネスⅠ改訂版(一般社団法人 日本ファッション教育振興協会) ファッションビジネス能力検定試験3級項目別 試験問題・解答集改訂版(一般社団法人 日本ファッション教育振興協会)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2022年11月19日(土)		
備考	ファッション造形知識編				

授業科目	マーケティング			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ファッションデザイン専攻 2年・ファッションビジネス専攻 2年 ファッションクリエイターコース 1年・ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションブランドを立ち上げることを想定し、商品企画のために必要となるマーケティングを習得し、企画から販売までの総合理解と商品を販売展開する知識を習得する。						
学習到達 目標	実在するショップの課題、改善策を導き出し分析し、ブランド運営に於ける情報収集能力と分析能力を身につけることが出来る。また、マーケティングを理解しオリジナルブランドへと展開できる力を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	マーケティングの基礎		マーケティングの定義、市場機会の発見				
4～6	STPマーケティング		セグメンテーション・ターゲティング、ポジショニング				
7～9	マーケティングミックス		マーケティングの4Pと言われる製品戦略、価格戦略、流通戦略 プロモーション戦略を学ぶ				
10	ブランド研究		ブランド化にしていく為に必要なスキル、ビジネスモデルを考察				
11	ブランド調査と分析		アパレル市場の現状やブランド定義について				
12	発想のヒント・デザイン発想		柔軟な思考と発想方法				
13	マーチャンダイジングの 基礎知識		マーチャンダイジングの理解 市場細分化(マーケットセグメンテーション)他				
14	ブランド企画		商品構成の検討、生産枚数、上代設定				
15	ブランド企画・合評		ブランド名・コンセプト決定				
使用テキスト 教材・教具	マーケティング用語図鑑 改訂版(新星出版社)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト40%、レポート提出60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	授業の内容を丁寧に復習し、次回の授業 に向けて予習をすること。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネットビジネスⅡ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	金曜 1・2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	シヨップマスターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ネット上に公開されているデータの収集方法や、キーワード分析、アクセス解析などデータを分析する技術を学習する。またその分析結果から、ターゲット層をWebサイトに誘導するために効果的なキーワードを選定、また検索エンジンの検索結果上位に表示させるための記事の書き方などを学習する。				
学習到達 目標	クライアントニーズを踏まえた上で、競合や市場の流れを分析するスキルとGoogleのWeb解析ツールの基礎的な活用方法を身につける。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無 【実務経験内容】 ディレクション業務の1つとして制作時のヒアリングを元にサイトにおけるキーワードやターゲットの絞りこみ、分析結果を踏まえた提案と公開後の運用によるPDCAによる効果測定と改善提案の経験のある講師が指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webワード分析とは	Webにおけるワード分析とは			
2	検索エンジンとは	検索エンジンの種類と違いと特徴(前回の小テスト)			
3	SEOとPDCAの重要性	SEOとPDCAの相関関係について			
4	METAタグの重要性	titleやdiscriptionの設定で得られる効果			
5	「検索フレーズ」と「キーワード」	「検索フレーズ」と「キーワード」の違い			
6	リニューアル時問題点のデータ収集	データツールを用いた分析で問題点の解決につながるサイトキーワードの導き出し方(前回の小テスト)			
7	実際に改善してみよう	デモサイトを用いて実際にキーワードやサイト内フレーズを変更する一連の流れを説明しながら進める			
8	Web解析ツールを活用	Google Web解析ツールを活用した改善点の探し方			
9	Googleトレンド分析	Googleトレンドを用いたワードの分析方法			
10・11	レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自発表			
12	Googleアナリティクス分析	デモサイトを用いてGoogleアナリティクスの見方・活用方法を知る			
13	Googleサーチコンソール分析	デモサイトを用いてGoogleサーチコンソールの見方・活用方法を知る			
14	コンテンツマーケティングとは	コンテンツマーケティングを用いたターゲットワードでの集客方法と事例紹介			
	効果測定考察会	7でおこなった施策で得られた変化を確認しながら考察する			
15	修了テスト	総まとめの内容の筆記試験			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト10%、提出課題10%、レポート発表内容40%、修了テスト40%の比率で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	スタイリスト演習Ⅰ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃・溪 裕子		時間割	金曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年	
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場で必要な知識を情報を学ぶ。					
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、スタイリングに関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1・2	スタイリスト概論Ⅰ					
3～5	ボディ・貸し出し					
6	着せ込み概論		アイロン、スタイリストバッグ、底張り			
7・8	実習①		ボディ着装・撮影			
9・10	実習②		モデル着装			
11	復習					
12～14	実習③					
15	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品60%、修了テスト40%の比率で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	スキンケア理論、メイクアップ理論		道具の説明、メイクアップの理論について説明				
2	クレンジング		ポイントクレンジング～フルクレンジング、整肌について				
3	ベースメイク		ファンデーション、コンシーラ、パウダーについて				
4	眉・凸凹について		眉の描き方、ハイライト、シャドーについて				
5～10	ポイントメイク		アイメイク、チーク、リップなどのポイントメイク基礎				
11～15	ヘア基礎		ブロッキング、コーミング、ピン打ち基礎				
16～19	アップ基礎		逆毛理論				
20～23	カールの作り方		コテの使いかたなど				
24～27	編みこみ		いろいろなパターンの編みこみ				
28～30	ヘアメイク作品づくり		基礎を復習しながらの作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅰ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)		時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年	
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す。					
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験3級・JNAジェルネイル技能検定試験 初級取得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1・2	プレマニキュア、カットスタイル		テーブルセッティング、用具用材、カットスタイルについて、理論、実技			
3・4	爪の構造と働き、ネイルケア		理論、ネイルケア（ファイリング・カラーリング・ポリッシュオフ）			
5・6	化粧品学、ネイルケア		理論、ネイルケア（キューティクルクリーン）			
7・8	消毒法、ネイルケア		理論・ネイルケア（相モデル）			
9・10	歴史、技術体系、ネイルケア		理論、ネイルケア（相モデル）			
11・12	爪の病気とトラブル ネイルケア		理論、ネイルケア（相モデル）			
13・14	皮膚科学、生理解剖学 ネイルケア		理論、ネイルケア（相モデル）			
15・16	色彩理論、ネイルアート		理論、ネイルアート			
17～24	3級検定対策		ネイルケア、ネイルアート			
25～30	ジェルネイル		ジェルネイル理論、実技			
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック(NPO法人日本ネイリスト協会) ネイルケア用具用材、ジェルネイル用具用材					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%の比率で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級：2022年7月17日（日） JNAジェルネイル技能検定初級：2022年10月受験予定		
備考						

授業科目	化粧品概論			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	石綿 貴子 (株式会社 ルージュ・るー)			時間割	金曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	CIDESCO インターナショナルエステティシャン、日本エステティック協会認定講師のエステティシャンが代表取締役を務める『株式会社 ルージュ・るー』と連携し、肌の構造と化粧品の特性や役割を理解し、ヘアメイクに活かす。						
学習到達 目標	化粧品の基礎知識を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 エステティシャンの資格を有し、エステティックサロンの運営・実務経験がある講師が、その経験を活かし、肌と化粧品に関わる知識について指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基礎知識		化粧品成分表示の読み方 分類 効果効能				
2～4	基礎知識		化粧品の成分構成 ベース成分				
5	肌の仕組みと化粧品		肌のしくみ				
6～10	肌トラブルと化粧品		様々なトラブルと化粧品				
11	基礎知識		その他の成分				
12	応用		化粧品の読み解き				
13	応用		プレゼンテーション				
14	復習		総復習				
15	確認		筆記テスト				
使用テキスト 教材・教具	化粧品選びの常識が変わる！美肌成分事典(主婦の友社) 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(主婦の友社)・日本化粧品検定2級対策問題集(日本化粧品検定協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題40%、筆記テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	日本化粧品検定2級:2022年11月27日(日) 定期開催地(大阪)か特別開催地(高松もしくは松山)で受験		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	スタイリスト演習Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃・溪 裕子		時間割	金曜 1・2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年	
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場で必要な知識や情報、また即戦力となる技術を学ぶ。					
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、スタイリングに関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1・2	スタイリスト概論Ⅱ		心理学			
3・4	実習①		浴衣着装・浴衣アレンジ			
5・6	実習②		AW(レディース)スカート着装			
7・8	実習③		AW(メンズ)パンツ着装			
9・10	洋服の扱い方		畳み方・セット組み			
11・12	実習④					
13・14	実習⑤					
15	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品60%、修了テスト40%の比率で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考						

授業科目	スタイリスト商品制作Ⅰ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年	
授業科目の テーマと目的	ファッションアイテム制作を通してアパレル商品の基本知識、デザイン、製図工程、素材の扱い、縫製・お直しテクニック、アイロンのかけ方、スタイリングについて学ぶ。					
学習到達 目標	ファッションアイテムの制作					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	概論	スタイリストとしての洋裁技術について、洋裁道具				
2	手縫い	手縫い、返し縫い、まつり縫い、糸始末				
3・4	副資材	ボタン、スナップ、マジックテープ、ファスナー				
5	採寸	採寸				
6	ミシン講習	職業用ミシン、ロックミシン				
7	お直し技術	裾上げ、ウエスト詰め				
8	制作 フレアスカート	製図、裁断、印つけ				
9～11		バランスチェック、本縫い、ウエストゴム				
12～15	制作 リメイクシャツ	身頃・前立て・袖・襟・ポケットを解体し、リメイク作品を作る				
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、製図道具など					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。					

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	テーマ別作品づくり	テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る					
6～10	テーマ別作品づくり	テーマを決めてヘアのみ相モデルで作品を作る					
11～15	テーマ別作品づくり	ヘアメイクトータルでの作品づくり					
16～18	ヘアアレンジ	アップスタイルのしっかりしたものを作る					
19～23	メイクアレンジ	ショー用のヘアメイク					
24～28	ショー用ヘアメイクアレン ジ	時間を決めて丁寧に作品を作る					
29・30	作品作り	進級にあたっての作品制作					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅱ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)		時間割	月曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年	
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験2級の取得を目指す。					
学習到達 目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級取得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1・2	ジェルネイル初級		実技・筆記試験対策			
3・4	検定試験		JNAジェルネイル技能検定試験 初級			
5・6	ジェルネイル		ジェルグラデーション			
7・8			ジェルフレンチ			
9～12			ジェルスカルプ			
13～22	ジェルネイル中級		実技・筆記試験対策(相モデルorハンド)			
23～28			ネイルケア、グラデーション、フレンチ、ジェルオフ、ジェルスカルプ			
29・30	検定試験		JNAジェルネイル技能検定試験 中級			
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック、ジェルネイル用具用材					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%の比率で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	JNAジェルネイル技能検定初級:2022年10月受験予定 JNAジェルネイル技能検定中級:2023年 1月受験予定		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。					

授業科目	ネイル実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験3級・JNAジェルネイル技能検定試験 初級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	プレマニキュア、カットスタイル		テーブルセッティング、用具用材、カットスタイルについて、理論、実技				
3・4	爪の構造と働き、ネイルケア		理論、ネイルケア(ファイリング・カラーリング・ポリッシュオフ)				
5・6	化粧品学、ネイルケア		理論、ネイルケア(キューティクルクリーン)				
7・8	消毒法、ネイルケア		理論・ネイルケア(相モデル)				
9・10	歴史、技術体系、ネイルケア		理論、ネイルケア(相モデル)				
11・12	爪の病気とトラブル ネイルケア		理論、ネイルケア(相モデル)				
13・14	皮膚科学、生理解剖学 ネイルケア		理論、ネイルケア(相モデル)				
15・16	色彩理論、ネイルアート		理論、ネイルアート				
17～24	3級検定対策		ネイルケア、ネイルアート				
25～30	ジェルネイル		ジェルネイル理論、実技				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック(NPO法人日本ネイリスト協会) ネイルケア用具用材、ジェルネイル用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級:2022年7月17日(日) JNAジェルネイル技能検定初級:2022年10月受験予定		
備考	履修者は教材代(3級 ¥25,458・ジェル初級 ¥4,858)と検定料(3級 ¥6,800・ジェル初級 ¥9,900)が自己負担となる。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 シヨップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	スキンケア理論・メイク アップ理論		道具の説明・メイクアップの理論について説明				
2	クレンジング		ポイントクレンジング～フルクレンジング・整肌について				
3	ベースメイク		ファンデーション・コンシーラ・パウダーについて				
4	眉・凸凹について		眉の描き方・ハイライト・シャドーについて				
5～10	ポイントメイク		アイメイク・チーク・リップなどのポイントメイク基礎				
11～15	ヘア基礎		ブロッキング・コーミング・ピン打ち基礎				
16～19	アップ基礎		逆毛理論				
20～23	カールの作り方		コテの使いかたなど				
24～27	編みこみ		いろいろなパターンの編みこみ				
28～30	ヘアメイク作品づくり		基礎を復習しながらの作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	履修者は教材代として、¥27,357自己負担となる。						

授業科目	ネイル実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験2級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	ジェルネイル初級		実技・筆記試験対策				
3・4	検定試験		JNAジェルネイル技能検定試験 初級				
5・6	ジェルネイル		ジェルグラデーション				
7・8			ジェルフレンチ				
9～12			ジェルスカルプ				
13～22	ジェルネイル中級		実技・筆記試験対策(相モデルorハンド)				
23～28			ネイルケア、グラデーション、フレンチ、ジェルオフ、ジェルスカルプ				
29・30	検定試験		JNAジェルネイル技能検定試験 中級				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック、ジェルネイル用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	ネイル実技・理論Ⅰ 修了必須			検定試験の 概要	JNAジェルネイル技能検定初級:2022年10月受験予定 JNAジェルネイル技能検定中級:2023年 1月受験予定		
備考	履修者は教材代(ジェル中級¥4,963)と検定料(ジェル中級¥13,200)と試験会場までの交通費が自己負担となる。松山か高松にて受験予定。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	テーマ別作品づくり	テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る					
6～10	テーマ別作品づくり	テーマを決めてヘアのみ相モデルで作品を作る					
11～15	テーマ別作品づくり	ヘアメイクトータルでの作品づくり					
16～18	ヘアアレンジ	アップスタイルのしっかりしたものを作る					
19～23	メイクアレンジ	ショー用のヘアメイク					
24～28	ショー用ヘアメイクアレン ジ	時間を決めて丁寧に作品を作る					
29・30	作品作り	進級にあたっての作品制作					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	ヘアメイク実技・理論Ⅰ 修了必須			検定試験の 概要			
備考							